

## ■意見書（素案）整理表

意見書（素案）	発言要旨
<p>&lt;意見書（素案）の取りまとめ方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 項目ごとに、リード文として意見交換の概要を整理する。</li> <li>・ 委員の発言内容のうち、同様の意見は、一文に調整する。</li> <li>・ 発言内容の例示部分等は削除し、「意見書」の文体として記載する。</li> </ul>	
<p><b>1 意見</b></p> <p>盛岡市の新市庁舎整備について、新市庁舎構想検討会議の「報告書」や事務局から配付された資料を参考に意見交換を行いました。各委員から出された意見は次のとおりです。</p> <p>(1) 新市庁舎整備の必要性</p> <p>新市庁舎整備の必要性についての主な意見は次のとおりです。新市庁舎の整備が必要であるという共通認識に至りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 少子高齢化や障がい者の視点から、現市庁舎はバリアフリー等の問題がある。障害者差別解消法における合理的配慮の点を含め、新市庁舎の整備を進めるべき。</li> <li>○ 現市庁舎は、洪水浸水想定区域にもかかわらず地下に電源設備がある。行政のあり方や庁舎の使い方の見直しなどを含めて、新市庁舎の整備を進めるべき。</li> <li>○ 未来に必要な市民サービス機能など、現市庁舎の改修では対応が困難なため、新市庁舎の整備を進めるべき。</li> <li>○ 施設の老朽化やバリアフリーの解決だけでなく、市役所に求められる新しい機能や役割の実現のため、新市庁舎整備が必要である。</li> <li>○ 新市庁舎整備の必要性の議論には、本庁舎建設後の分庁舎の設置経緯等の整理や検証も必要である。</li> </ul> <p>(2) 新市庁舎に必要な機能</p> <p>新市庁舎に必要な機能についての主な意見は次のとおりです。防災拠点機能に関すること、環境に配慮した機能のほか、市民の交流の場といった新し</p>	<p><b>1 意見</b></p> <p>(1) 新市庁舎整備の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市には（障害者差別解消法で）合理的配慮が義務付けられている。少子高齢化や障がい者の視点から、現市庁舎はバリアフリー等の問題があり、使いづらいため、新市庁舎の検討を進められたい。</li> <li>○ 現市庁舎は、洪水浸水想定区域にもかかわらず地下に電源系統がある。行政のあり方や庁舎の使い方の見直しなどを含めて、未来のためにも機能改善が必要であり、整備の検討を進めるべき。</li> <li>○ 未来に必要な市民サービスを市民が期待しており、それは建て替えでなければ対応できないものがあるので、庁舎整備の必要性を感じる。</li> <li>○ 老朽化やバリアフリーといった課題をクリアすると同時に、市民の憩いのスペースなど、市役所の新しい機能や役割を効果的に実現してほしい。市民会議の報告会を聞いて、老朽化に端を発した「新市庁舎整備の必要性」が新しい機能を求めるものにシフトしたと感じた。</li> <li>○ 新市庁舎整備の必要性の議論には、本庁舎建設後の分庁舎の設置経緯等の整理や検証も必要ではないか。</li> </ul> <p>(2) 新市庁舎に必要な機能</p>

意見書（素案）	発言要旨
<p>い機能など、様々な意見がありました。</p> <p>◆ 新たな価値を生み出す庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ これからの市の賑わいをリードする機能について検討されたい。</li> <li>○ 安心安全で誰もが集いやすいといった市役所の役割を大切にしてほしい。</li> <li>○ 行政機能だけでなく、市民が自由に集まって交流できる機能を庁舎に持たせるべき。</li> <li>○ 新市庁舎は、市民にとって、家庭や職場以外のサードプレイスとなるような、居心地の良い場所となるべき。高齢者の孤立を防ぐことにも、つながるのではないか。</li> <li>○ 市役所本庁舎は、市民に愛着のある岩手山や中津川など、盛岡らしさを感じられるような中心となる施設である。街を眺望でき、休憩できるような機能があってもいいのではないか。</li> <li>○ 市庁舎の整備は、市庁舎の機能の充実と行政の役割の深化が目的であり、市民の福祉に資するという目的を追求するべきである。</li> <li>○ 各種団体等にもフロアを貸し出す等、公民連携の形も検討されたい。</li> </ul> <p>◆ 「盛岡のシンボル」となる庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民が集まって交流できる機能を持たせた、市民のシンボルとなる庁舎となるべき。</li> <li>○ 市庁舎には、市民の交流の場になるなど、シンボリックな位置付けになるような新たな機能を期待する。</li> </ul> <p>◆ 防災拠点となる安全な庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害に強い誰もが安心して利用できる庁舎を目指すべき。</li> <li>○ 将来を見据えた防災上の持続可能性の点から、市役所内に各大学や他市</li> </ul>	<p>◆ 新たな価値を生み出す庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ これからの市の賑わいをリードする機能についても検討されたい。</li> <li>○ 誰もが集いやすい建物であればいい。市民が集える大きなスペースがあれば観光にもつながる。安心安全で誰もが集いやすいといった市役所の役割を大切にしてほしい。</li> <li>○ 市民ホールが以前よりスペースがなくなった。市役所の仕事が増えて、その分押し込まれた結果、市民が自由に使えるスペースがなくなった。行政のためだけの施設ではなく、市民が集まって交流できる機能を庁舎に持たせるべき。</li> <li>○ 新市庁舎は、市民にとって、家庭や職場以外のサードプレイス（第3の場）となるような、居心地の良い場所となるべき。高齢者が多くなってきているが、孤立を防ぐ第一歩になるような気がする。</li> <li>○ 市民にとって岩手山は非常に愛着がある。また、中心部には川が流れている。そういう盛岡らしさを感じられるような中心となるべき施設が市役所本庁舎である。本庁舎の高層階から街を眺望できるスペースがあり、食事ができるような場所があれば、単に手続きだけでなく、市民が集まるのではないか。</li> <li>○ 今回の計画は、市役所を移転することによって得られる機能の充実と役割の深化が目的である。計画において、主目的からずれないように市民の福祉に資する機能が充実することを追求していくことが重要である。活性化を主目的にすると往々にして失敗する例が見られる。</li> <li>○ 事業者にとってワンストップにつながるメリットがあるので、各種団体等にもフロアを貸し出す等、公民連携の形も検討されたい。</li> </ul> <p>◆ 「盛岡のシンボル」となる庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民が集まって交流できる機能を持たせた、市民のシンボルとなる庁舎となるべき。</li> <li>○ 海外の事例では、庁舎は交流の場であったり、結婚式場であったり、シンボリックな位置付けになっており、新たな機能を期待したい。</li> </ul> <p>◆ 防災拠点となる安全な庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 洪水のニュースをよく聞くが、誰もが安心して利用できる庁舎を目指してほしい。</li> </ul>

意見書（素案）	発言要旨
<p>町村と連携する部署が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 耐震、免震の観点からも、低層の庁舎を検討されたい。</li> </ul> <p>◆ 次世代の執務環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市DX（デジタルトランスフォーメーション）推進計画の成果をいかに高いレベルに上げて、新市庁舎に引き継ぐかが重要である。</li> <li>○ 時代とともに行政の役割や仕事のしかたが変わっていくため、デジタルへの柔軟な対応等新しい機能に備えた可変性や多様性が必要である。</li> <li>○ 市職員が働きやすい職場環境という観点も必要である。行政機能のパフォーマンス向上と、市民サービス向上につなげていくべき。</li> </ul> <p>◆ 環境に優しい庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市庁舎自体のエネルギー収支をゼロにする「ゼロエネルギー」の観点から、ビル管理の見える化、ビルの監視システムといった機能面の検討が必要である。</li> <li>○ ZEB（ゼロエネルギービル）など、建物の省エネ、再生エネルギーの導入と建物のデザイン性のバランスを取ることが重要であるとともに、気候風土に見合った建物にすべき。</li> <li>○ 2050年のゼロカーボン、カーボンニュートラルの目標に向け、建物からの温室効果ガス排出量を減らすために、低層や木造建築のほかCLTの活用等について検討されたい。</li> <li>○ 市産材を使用した場合、木造にしたことによる建替年数の比較など、持続可能性の点から大事ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災上の持続可能性の点から、各大学や他市町村と連携する部署が、新たに市役所に存在することが、将来を見据えた市役所となる。</li> <li>○ 平屋や低層は地震対策になる。土地が広く必要になるかもしれないが、高層よりも低層のほうが地震に強いと言える。</li> </ul> <p>◆ 次世代の執務環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ DX推進計画の成果をいかに高いレベルに上げて新市庁舎に引き継ぐかが重要である。</li> <li>○ デジタルが当たり前となったときに、間仕切りとか、OAなどで柔軟な庁舎の環境というのが機能面で必要である。</li> <li>○ 時代とともに行政の役割や仕事のしかたが変わっていくため、新市庁舎には新しい機能に備えた可変性や多様性が必要である。</li> <li>○ 新市庁舎は長期に使われる建物で、市民の利用者以上に長時間、そこで働く市職員が働きやすい職場環境の整備ということからも、気候や風土に適した建物が大事である。</li> <li>○ 職員が働きやすい職場により、行政機能のパフォーマンスを高め、行政サービスとして市民や関連する方々に提供出来る状況ができるとよい。</li> </ul> <p>◆ 環境に優しい庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 庁舎自体のエネルギーの収支をゼロにしようという話がある。ゼロエネルギーの観点から、ビルの見える化、ビルの監視システムといった機能面の検討が必要である。</li> <li>○ ゼロエネルギーの視点と合わせ、デザインと省エネのバランスや気候風土に合った建物であるべき。</li> <li>○ ドイツのフライブルグの市庁舎は、壁面全部が太陽光発電パネルとなっている。省エネではなく、デザイン性と聞いているが、建物の省エネ、再生エネルギーの導入と建物のデザイン性のバランスを取ることが重要である。</li> <li>○ 2050年カーボンニュートラルを掲げており、カーボンニュートラルの目標を達成するために建物からの排出量を減らすことは重要な視点である。市役所が機能と役割を果たせるのであれば、低層で木造やCLTとすることも選択肢となる。</li> <li>○ 市産材を使用して木造庁舎とする場合、木材にすることで建替えの年数が延びるのかというのも持続可能性に関連し大事な観点である。</li> </ul>

意見書（素案）	発言要旨
<p>(3) 新市庁舎の規模</p> <p>新市庁舎の規模についての主な意見は次のとおりです。部署の集約、合築、デジタル化による規模への影響など、様々な意見がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 効率化の観点から、基幹的な部署は新市庁舎に集約するべきであり、教育委員会も検討すべき。</li> <li>○ 庁舎の分散は不便であり、分庁舎は本庁舎に統合すべきだが、都南分庁舎と玉山分庁舎は、残すべきである。</li> <li>○ 新市庁舎の規模は、現状の情報（人口、職員数、業務のあり方や書類の数など）から算出するのではなく、人口減少やDXの推進等による将来の規模を想定した「規模の最適化」について、検討が必要である。</li> <li>○ オンラインやワンストップの機能があれば、庁舎が分散していても非効率という考え方が変わってくることも考慮されたい。</li> <li>○ 窓口については、デジタル活用が効率的な分野とそれ以外の分野を分けて考え、来庁が必要な人のことも考慮し、検討の優先順位を考える必要がある。</li> <li>○ デジタル技術の進歩に柔軟に対応できるよう、幅を持たせた規模の検討も必要である。</li> <li>○ 駐車場の整備は、DXの状況による来庁者数や、整備経費も含めた検討が必要である。</li> </ul> <p>(4) 新市庁舎の整備方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ CLTは、工期短縮のメリットが大きい。高層の例がないなどの課題はあるが、検討の余地はある。新たな取組なので、国や県の補助金を受けやすい。</li> </ul> <p>(3) 新市庁舎の規模</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基幹的な部署は集約しないと効率が悪いため、教育委員会等の集約を検討されたい。また、庁舎の集約に当たっては、どのくらいのスペースが確保できるか整理してほしい。</li> <li>○ 庁舎の分散は、当時は便利だったかもしれないが、今はかなり不便。時間的にも経費的にも分庁舎は本庁舎に統合したほうが良い。ただし、都南分庁舎、玉山分庁舎は残すべき。</li> <li>○ 人口減少や業務のあり方の変化やDXの推進により紙が減っていくので、今の規模がマックスと言える。将来の負担を考えると規模を縮小できるかということを検討するべきであり、「規模の最適化」について検討すべき。</li> <li>○ 盛岡市が進めているデジタル推進計画は令和7年を区切りとしている。規模を考えた場合、今の人口、職員数、業務のあり方、書類の数を母数にするのではなく、令和7年までにソフト面が成熟したときの規模をどう読むかが大切である。市役所に人が来なくなれば駐車場の規模にも影響する。</li> <li>○ オンラインやワンストップの機能があれば、庁舎が分散していても非効率という考え方が変わってくる。</li> <li>○ 市庁舎に来る人とデジタル化により来なくて済む人を分けて検討する必要がある。市庁舎に来なくてもいい方は、それで便利だと感じれば来てもらわないほうが市民のためになる。</li> <li>○ デジタル化等技術の進歩に柔軟に対応できるよう幅を持たせた方法を検討されたい。</li> <li>○ 駐車場の整備について、中心部になれば当然制約があるので、経費も含め研究する必要がある。</li> </ul> <p>(4) 新市庁舎の整備方法</p>

意見書（素案）	発言要旨
<p>新市庁舎の整備方法についての主な意見は次のとおりです。新市庁舎整備に当たっては現地建替や改修ではなく、移転新築が望ましいという意見が大勢を占めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現市庁舎の位置は、防災面の課題や敷地面積の狭隘により、市民が求める新たな機能の追加が困難なことから、現在地での建て替えは困難である。</li> <li>○ 整備方法の比較検討は、財政負担の軽減のみではなく、新たな価値を生み出すという観点が必要である。</li> </ul> <p>(5) 新市庁舎の整備エリア 新市庁舎の整備エリアについての主な意見は、次のとおりです。 エリア選定に当たっては、市民会議で意見のあった「求められる立地条件」や本懇話会の意見を踏まえ、今後、市及び新市庁舎整備審議会において、深く議論し決定されることを求めます。</p> <p>&lt;エリア選定についての意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 防災・災害対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 木造建築とする場合は、洪水浸水想定区域外での整備が望ましい。</li> <li>○ 有事の際でも要配慮者の避難対応のため、洪水浸水想定区域外での整備が望ましい。</li> <li>○ 防災拠点や災害対策本部といった機能が、庁舎の浸水によって損なわれることのないよう整備されたい。</li> <li>○</li> </ul> </li> <li>◆ 環境・土地 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 整備エリアにおける建物の建ぺい率や容積率も影響があるので、検討が必要ではないか。</li> <li>○</li> </ul> </li> <li>◆ まちづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 整備エリアは、まちづくりを考える上で非常に重要であるため、市のまちづくりに関する計画との関連性から比較検討すべき。</li> <li>○</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今の市役所の場所は、防災面のほか、面積的にも狭く、皆さんが満足するような機能を入れるには無理がある。改修という段階ではない。また、現在地での建て替えは難しい。</li> <li>○ 財政負担の軽減のみではなく、新たな価値を生み出すという観点が必要である。</li> </ul> <p>(5) 新市庁舎の整備エリア</p> <p>&lt;エリア選定についての意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 防災・災害対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 洪水浸水想定区域がポイントになると思う。市産材活用の観点から言うと、木材は水を吸うため、浸水想定区域外での整備が望ましい。また、有事の際にも参集や弱者の避難対応などを考えると洪水浸水想定区域内はネックになる。</li> <li>○ 洪水浸水想定区域内に立地した場合、防災拠点や災害対策本部といった機能が、庁舎の浸水によって損なわれるのは問題であり、有事の際の初動に影響が出ると思う。</li> </ul> </li> <li>◆ 環境・土地 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ エリアを考える上で、建ぺい率と容積率も関係する。今と変わらない建ぺい率、容積率であれば、また、庁舎の分散が始まるのではないか。</li> </ul> </li> <li>◆ まちづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>○ エリアはまちづくりを考える上で非常に重要である。</li> <li>○ エリアを検討するには、評価軸を増やす必要がある。市では、内丸プランなどまちづくりに関する計画が同時進行しているが、他のそれぞれの計画に</li> </ul> </li> </ul>

意見書（素案）	発言要旨
<p>◆ 交通アクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各エリアについてのアクセス性を評価するデータを用意されたい。</li> <li>○ 遠方からの来庁者のため必要な駐車場を整備できるエリアが望ましい。</li> <li>○</li> </ul> <p>◆ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 整備エリアの検討について、説明根拠となる評価が必要であり、見方や立場によっても変わらない評価項目とすることや、市民が納得できる客観的なデータが必要である。</li> </ul> <p>&lt;各エリアについての意見&gt;</p> <p>◆ 内丸エリアについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歴史ある盛岡のイメージを大切にしたい。</li> <li>○ 市庁舎は内丸にあった方がアクセスも良く便利である。</li> <li>○ 川をシンボルとして、周辺には歴史文化が集まっている現庁舎の場所が理想ではないかと感じている。</li> <li>○</li> </ul> <p>◆ 盛岡駅西エリアについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul> <p>◆ 盛南エリアについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	<p>とって、どのように関連するか、将来の市にとってよいものになるのかといった視点の比較資料があると判断しやすい。</p> <p>◆ 交通アクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自動車によるアクセス性に優れている」、「他エリアに比べ、公共交通機関によるアクセス性が劣る」といった記述があるが、アクセス性に優れているというデータ、あるいはアクセス性が劣っているデータを示してほしい</li> <li>○ 遠方から来庁する人にとっては駐車場を整備できるかということも必要な観点である。</li> </ul> <p>◆ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 整備エリアの検討について、市民への説明根拠となる評価が必要であるが、見方や立場によっても変わらない評価項目とすることや客観的な証拠となるデータが必要である。</li> </ul> <p>&lt;各エリアについての意見&gt;</p> <p>◆ 内丸エリアについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歴史ある盛岡のイメージを大切にしたい。</li> <li>○ 市庁舎は内丸にあった方がアクセスも良く便利である。</li> <li>○ 川をシンボルとして、周辺には歴史文化が集まっている現庁舎の場所が理想ではないかと感じている。</li> <li>○</li> </ul> <p>◆ 盛岡駅西エリアについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul> <p>◆ 盛南エリアについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>

意見書（素案）	発言要旨
<p data-bbox="165 181 555 209">&lt;各エリアの優位性について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="165 220 192 247">○</li> <li data-bbox="165 258 192 285">○</li> <li data-bbox="165 296 192 323">○</li> <li data-bbox="165 335 192 362">○</li> </ul> <p data-bbox="138 408 443 435">(6) 事業手法と資金計画</p> <p data-bbox="165 446 1115 512">事業手法と資金計画についての主な意見は次のとおりです。コストダウンとなる手法の検討や財政負担の軽減に関することなどの意見がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="165 558 1115 624">○ 市内経済の活性化や財政負担の観点から、盛岡市内の業者が市庁舎整備に関わることが重要である。</li> <li data-bbox="165 635 1115 700">○ 盛岡の環境や風土に適した設計・建築が必要であり、建設後のメンテナンスの面でも、地元に通じた事業者が担ったほうがいい。</li> <li data-bbox="165 711 1115 777">○ 市民は、財政的な持続可能性について高い関心を持っており、丁寧な説明が必要である。</li> <li data-bbox="165 788 1115 887">○ 事業手法は、従来型にとらわれず、設計と施工を一体化した手法などのコスト的なメリットも比較し、可能な限りコストダウンにつながる手法も検討すべき。</li> <li data-bbox="165 898 1115 963">○ 新市庁舎に必要な機能について、優先度と財政負担のバランスを検討すべき。</li> </ul>	<p data-bbox="1200 181 1590 209">&lt;各エリアの優位性について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="1173 220 1200 247">○</li> <li data-bbox="1173 258 1200 285">○</li> <li data-bbox="1173 296 1200 323">○</li> <li data-bbox="1173 335 1200 362">○</li> </ul> <p data-bbox="1173 408 1478 435">(6) 事業手法と資金計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="1173 558 2159 657">○ できるだけ多く、盛岡市内の業者に新市庁舎の建築に関わっていただくことが重要である。市内経済の活性化につながり、ひいては財政負担という大きな課題を軽減できることにもつながる。</li> <li data-bbox="1173 668 2159 767">○ 建築・設計は、できれば仙台以北の業者が望ましい。盛岡は寒冷地なので、冬場の窓の結露など盛岡の風土に適した建築・設計が必要であり、後々のメンテナンスを考えても、土地に通じた業者がよい。</li> <li data-bbox="1173 778 2159 845">○ 市民は市のお金の使い方に厳しい目があり、財政的な持続可能性について、高い関心を持っている。丁寧な説明が必要である。</li> <li data-bbox="1173 857 2159 956">○ これまでは、設計施工分離が主流だったが、分割損もあり、設計と施工を一体にするほうがメリットがあるという結果もあるようだ。可能な限りコストダウンできるような手法を検討すべき。</li> <li data-bbox="1173 967 2159 1032">○ 新市庁舎に盛り込むものの優先順位を考え、限られた予算の中でどこにお金を使っていくかという観点が必要である。</li> </ul>